

日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1999年(平成11年)

4月16日

第1号

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館

TEL 03-3251-4606

FAX 03-3251-4853

理事長就任の御挨拶

福井 文雅

全くはからずも理事長の大役に当てられ、寝耳に水とはこのことで、大変とまどっています。一昨年あたりからおきた本学会の見直しがさし当たって第一の仕事かもしれませんが、見直しの胎動が始まった頃は、幸か不幸か、私はちょうど在外研究員としてフランス（パリ）に一年有余住んでいた頃でして、その間の事情には、まったく暗いのです。しかし、いわば白紙状態にあるので、客観的に全体を見直せる立場にあります。そこで賛成反対両方の方々との接点を見つけ、良い案はどンドン取り入れて、学会の良い明日をめざして進むのが、私の役目ではあるまいか、と愚考しております。

一九六一年秋から丸三年、「中国学」の勉強のためにパリの大学院に私は留学していましたが、当時は丁度アルジェリア戦争の真っ最中で、フランス政府留学生の寄宿舎の窓からでも、時限爆弾の炸裂する音を、夜中に度々聞いたものでした。周知のように、周恩来その他の若き革命家達が中国革命の案を練ったのはパリでありましたし、世界に先だって毛沢東を公認したのも、パリのドゴール將軍でした（その姿を私はテレビで見っていました）。このように、改革と中国とに関係深いパリに、ソルボンヌの大学院の授業のため只今滞在しているのも、偶然とは言え何かの因縁。改革には程遠くとも、耳をひそめて新しい時代の鼓動を聞いて帰りたいと思っています。

会員各位からの御叱正、御協力を心より願ってやみません。

一九九九年三月 パリ十六区にて

理事長退任の御挨拶

戸川 芳郎

ものには〈切り〉というのがあります。私にはその〈切りのいいところ〉を活かす能がないばかりか、ものごとをだらだら積みかさねるばかりです。

やっと役員改選で、理事長職をまぬかれました。前回は、北京日本学術センターより帰国の翌日から、理事長に就任、元気もあり、東大の停年をはさんで、一九九一神戸大・九二学藝大での大会も愉快にすごしたのです。このたびは、晴れの五十年記念大会を迎えて、記念事業そのものは役員・会員各位のお力で、立派に成功をおさめ、一九九七大阪市立大・九八早稲田大での大会も盛会の裡に終始しましたが、会則改正の一件では会員の意見を二分する形をとって「新会則」の採決にこぎつきましたのは、〈切り〉を活かせなかった不明と愧じています。

あとは、「新会則」の活かし方をおかんがえ、来年度（二〇〇〇）大会までに新役員の選出ができませんよう準備することがもとめられています。

本学会の役員は、いまや戦後の新制出身層にうつり、戦後五十年と戦前の五十～七十年とを分かつ節目にあたっているのですが、現在の〈中国学〉とは何か、十分総括されないまま二十一世紀へずれ込むように思われてなりません。『五十年史』刊行を機に、学問論の活発な展開を期待する次第です。

終わりに、高山・山辺両幹事の献身的な労苦に感謝します。 九九・三・三一

報 告

◎役員改選について

平成11・12年度の理事長・理事・評議員・監事は、選挙により、下記の会員に決定いたしました。
(五十音順)

理事長

福井文雅

理事

〔北海道地区〕 須藤洋一

〔東北地区〕 村上哲見

〔関東地区〕 竹田晃 戸川芳郎 福井文雅 松浦友久 丸尾常喜

〔中部地区〕 田仲一成 中島敏夫

〔近畿地区〕 一海知義 笈文生 三浦國雄

〔中国四国地区〕 下見隆雄 富永一登

〔九州地区〕 福田殖 町田三郎

評議員

〔北海道地区〕 伊東倫厚 須藤洋一

〔東北地区〕 中嶋隆蔵 花登正宏 村上哲見

〔関東地区〕 池田知久 石川忠久 大上正美 佐藤保 高橋均 竹田晃 戸川芳郎

福井文雅 藤井省三 堀池信夫 松浦友久 丸尾常喜 丸山昇 向嶋成美

望月真澄

〔中部地区〕 今鷹真 佐野公治 田仲一成 中島敏夫

〔近畿地区〕 一海知義 加地伸行 笈文生 川合康三 北岡正子 小南一郎 興膳宏

坂出祥伸 三浦國雄

〔中国四国地区〕 塩見邦彦 下見隆雄 富永一登 野間文史 森野繁夫

〔九州地区〕 合山究 竹村則行 福田殖 町田三郎

監事

大上正美 堀池信夫

また、幹事については下記の三会員が委嘱されました。

原克昭 森由利亜 山辺進

◎新しい学会会則について

新会則については、昨年12月に通信による臨時総会をもち、理事会案（A案）とそれに対する修正案（B案）への賛否を問いました結果、投票数520、A案197、B案310で、B案が賛成多数で採択されました（以上、既報のとおり）。

新会則は、平成11年4月1日から公布され、施行することとなりましたが、その実施運用については「新会則実施準備委員会」（戸川芳郎理事・藤井省三評議員・宮尾正樹会員）において、学会役員の選出方法・時期をふくむその完全実施の方策・日程などのスケジュールをたてて、11・12年度理事会に提出することとなりました。

したがって、この4月からは新会則を戴きながら旧会則によって構成された役員の体制で、会務運営にあたります。

「新会則実施準備委員会」では、現在、新会則による役員選挙を平成12年8月までに実施し、同年10月の2000年第52回大会（東京大）から新執行部の発足することが望ましい、との提案を行うこととしています。

◎昨年の大会総会の決議により旧「会則第8条」が改正され、「会費年額5000円」が「会費年額7000円」となりました。平成11年度より学会費値上げとなります。なお、すでに平成11年度会費を前納された方には、差額2000円を請求させていただきます。

◎本年度の学術大会は、関西大学が準備会を担当し、10月2日（土）3日（日）に開催されます。（大会準備会からの案内状が同封してあります。）

◎『学会報』第51集の編集担当校は、京都大学（責任者は興膳宏会員）に委嘱されました。第51集の〈学会消息〉欄の原稿は、記入責任者から京都大学文学部中国文学研究室（〒606-8317 京都市左京区吉田本町）宛にお送り下さい。資料は平成10年1月から12月までのものとします。

『学会報』第51集の〈学界展望〉執筆校は以下の通りです。

哲 学 大東文化大学文学部中国文学研究室・代表：倉田信靖会員
（〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1）

文 学 筑波大学文芸・言語学系中国文学研究室・代表：向嶋成美会員
（〒305-8571 つくば市天王台1-1-1）

語 学 東京都立大学人文学部中国文学研究室・代表：佐藤進会員
（〒192-0364 八王子市南大沢1-1）

〈学界展望〉は、会員各位の自己申告に基づいて整理されますので、未申告の会員は4月末までに上記の執筆校に直接お送りください。郵送費は各自ご負担願います。なお、申告が無い場合は、掲載漏れとなることがありますのでご注意ください。また、研究論文目録として掲載不適当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

訃報

昨年度会報第2号発行以後、次の会員が逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

加賀栄治(関東) 陣ノ内宜男(関東) 鈴木勝則(関東)

◎会費納入について

会費未納の方には振替用紙を同封致しますので、至急ご送金願います。なお、数年にわたって未納の方は特にご注意ください。4年にわたって滞納されますと除名となります。

(郵便振替口座：00160-9-89927)

◎『学会報』送付停止について

前年度会費未納の(第50集の場合は平成9年度会費)方には『学会報』を送付致しません。会費納入が確認され次第、送付いたします。また、納入の際には、振込用紙通信欄に未送付の『学会報』の号数をご注記下さい。

◎新入会員の紹介について

次回の新入会員の審査は平成11年度第一回理事会において行われます。つきましては入会申し込みのご紹介は、5月10日必着にてお願いいたします。期限を過ぎて到着した申込書は、10月理事会での審査を受けることになります。

◎住所変更について

住所・所属機関等の変更は速やかにご通知下さい。通知は書面もしくはFAXにてお願いいたします。電話および会費振込用紙でのお届けはご遠慮ください。

監事

皆さまは本会員の皆様から、ご寄付を頂戴し、その旨を申し渡すの委員、お(監事)は、
お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、お(監事)は、お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、
お(監事)は、お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、お(監事)は、お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、
お(監事)は、お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、お(監事)は、お金の取扱い等、は、ご自身の責任で、